

広島市の犯罪情勢

1 基本計画に掲げた施策目標

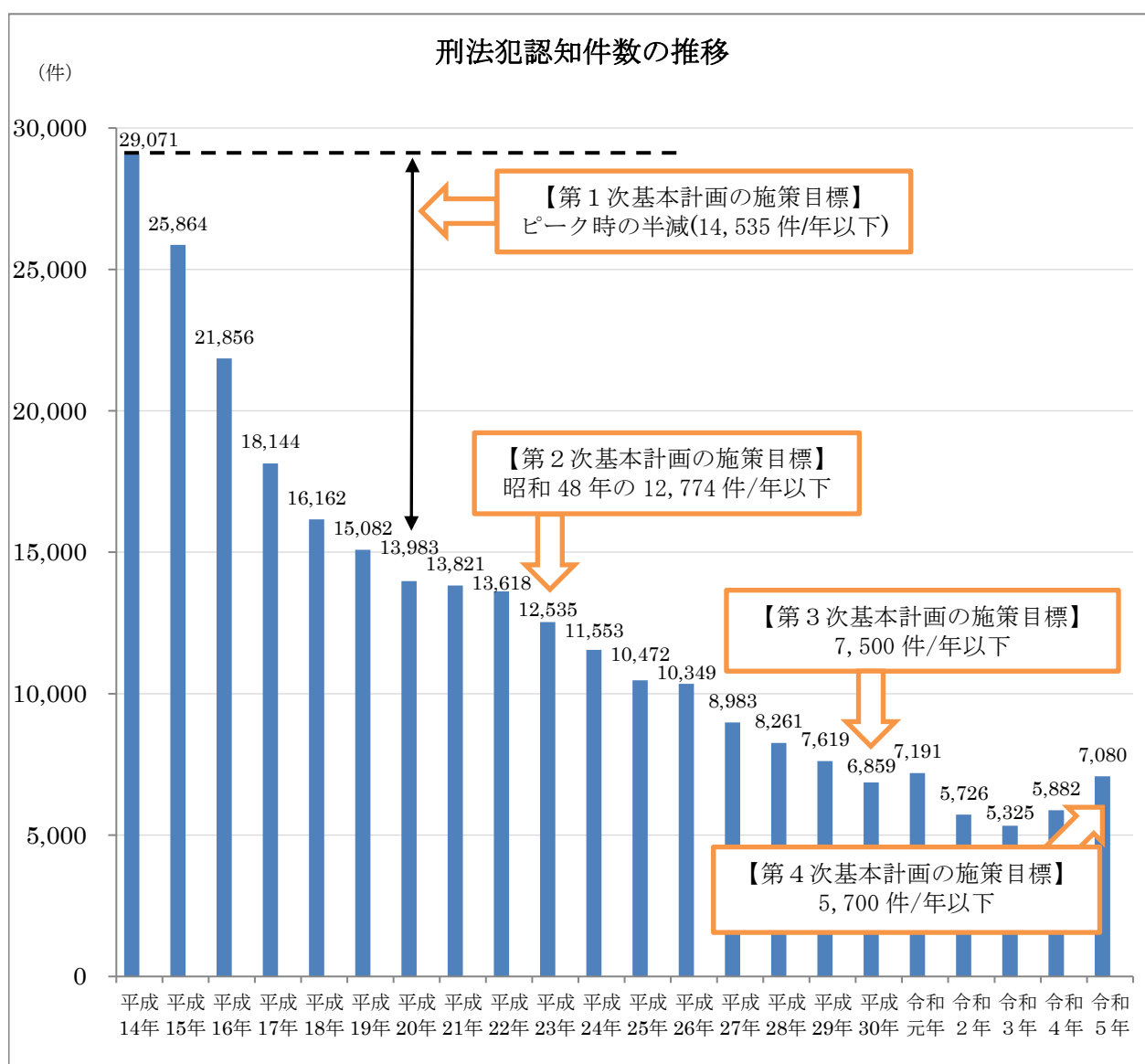
第4次広島市安全なまちづくりの推進に関する基本計画(令和3年3月策定)において、次のような施策目標を掲げています。

○刑法犯認知件数を年間 5,700 件以下とします。

○市民の安心感の向上のため、不安に感じる犯罪の認知件数を年間 2,600 件以下とします。

2 刑法犯認知件数の推移

令和5年の刑法犯認知件数は7,080件となっており、前年の令和4年と比較して1,198件の増加（20.4%増）となっています。この要因として、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症対策が徐々に緩和され、外出する機会がこれまでと比べて増加した影響等が考えられます。



資料：広島県警察提供

令和6年1月から9月までの刑法犯認知件数は5,546件となっており、令和5年の同期間と比較すると310件の増加(5.9%増)となっています。今後さらに増加することも懸念されるため、引き続き犯罪情勢の動向を注視する必要があります。

(単位：件)

区分	令和6年	令和5年	増減	
	1月～9月	1月～9月	件数	率
刑法犯認知件数	5,546	5,236	310	5.9%

資料：広島県警察提供

3 不安に感じる犯罪の認知件数の状況

刑法犯認知件数のうち自転車盗や器物損壊など8罪種について、「不安に感じる犯罪」と定義し、第4次基本計画では、年間2,600件以下を施策目標としています。令和5年の「不安に感じる犯罪」の認知件数は3,309件で、前年の令和4年と比較して689件の増加(26.3%増)となっています。

不安に感じる犯罪の認知件数の状況

(単位：件)

区分	令和5年	令和4年	増減数	増減率(%)	(参考)	
					令和元年	平成14年
自転車盗	2,037	1,482	555	37.4 %	1,803	6,225
車上ねらい	150	149	1	0.7 %	219	1,985
器物損壊等	685	669	16	2.4 %	808	2,743
侵入強盗	3	4	▲1	▲25 %	1	17
侵入窃盗	232	174	58	33.3 %	356	3,109
住居侵入	101	78	23	29.5 %	132	298
性犯罪(不同意性交等、不同意わいせつ)	101	64	37	57.8 %	101	194
総 数	3,309	2,620	689	26.3 %	3,420	14,571

令和6年1月から9月までの不安に感じる犯罪の認知件数は2,542件となっており、令和5年の同期間と比較すると57件の増加（2.3%増）となっています。

本年に入り、器物損壊等は大幅に減少しているものの、車上ねらい、自転車盗、侵入窃盗などは増加しており、総数で増加になっています。

不安に感じる犯罪の認知件数の状況

（単位：件）

区分	令和6年	令和5年	増減数	増減率（%）
	1月～9月	1月～9月		
自転車盗	1,569	1,531	38	2.5 %
車上ねらい	209	118	91	77.1 %
器物損壊等	399	516	▲117	▲22.7 %
侵入強盗	2	2	0	0.0 %
侵入窃盗	210	172	38	22.1 %
住居侵入	82	80	2	2.5 %
性犯罪(不同意性交等、不同意わいせつ)	71	66	5	7.6 %
総 数	2,542	2,485	57	2.3 %

資料：広島県警察提供

4 こども・女性に対する声かけ事案等の把握状況

令和5年のこども・女性に対する声かけ事案等の把握件数は1,278件で、令和4年の把握件数と比較すると58件増加（こどもが増加）しており、依然高い水準で推移しています。

（単位：件）

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
こども	583	621	519	555	506	564
女性	871	844	782	802	714	714
合計	1,454	1,465	1,301	1,357	1,220	1,278

資料：広島県警察提供

令和6年1月から9月までのこども・女性に対する声かけ事案等の把握件数は864件で、令和5年の同期間と比較して、こども・女性とも減少しております。

（単位：件）

区分	令和6年	令和5年	増減	
	1月～9月	1月～9月	件数	率
こども	350	400	▲50	-12.5%
女性	514	526	▲12	-2.3%
総数	864	926	▲62	-6.7%

資料：広島県警察提供

5 特殊詐欺被害等の状況

令和5年の特殊詐欺被害の認知件数は177件、被害額は約4億1,100万円で、令和4年と比較すると、認知件数は約6割、被害額は約2割の増加となっています。

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
認知件数 (件)	90	95	52	96	110	177
被害額 (万円)	16,904	17,221	7,363	14,913	32,846	41,120

資料：広島県警察提供

令和6年1月から9月までの特殊詐欺被害の認知件数は72件、被害額は約2億4,800万円で、令和5年の同期間と比較すると認知件数は約4割、被害額は約2割の減少となっています。

区分	令和6年	令和5年	増減	
	1月～9月	1月～9月	件数・額	率
認知件数（件）	72	119	▲ 47	-39.5%
被害額（万円）	24,837	32,217	▲ 7,380	-22.9%

※被害額は千の単位を四捨五入した概算

資料：広島県警察提供

昨年末から急激に増加している、SNS型投資詐欺等の被害については、令和6年1月から9月までの期間で、SNS型投資詐欺の認知件数は102件、被害額は約10億7,900万円となり、SNS型ロマンス詐欺の認知件数は21件、被害額は約2億1,000万円となっています。

両詐欺の被害額合計は、すでに昨年の特殊詐欺の3倍以上となっており、今後も予断を許さない状況が続いていきます。

区分	SNS型投資詐欺 1月～9月	SNS型ロマンス詐欺 1月～9月	合計
認知件数（件）	102	21	123
被害額（万円）	107,909	20,955	128,864

※被害額は千の単位を四捨五入した概算

資料：広島県警察提供